

令和5年度 Y I C看護福祉専門学校 第1回教育課程編成委員会（看護学科）

日時：令和5年10月20日（金）15：30～16：30

場所：カンファレンスルーム

委員出席者

- A 山口県看護協会 会長
- B 看護学科実習病院 看護部相談役
- C Y I C看護福祉専門学校 看護学科 卒業生

欠席者なし

学内出席者

- D 校長 挨拶のみ
- E 副校長
- F 事務長
- G 看護学科学科長
- H 書記

1. 校長挨拶

本年度から学科ごとの開催とした。より専門的なご意見をいただきたい。

社会的な情勢の変化に合わせて若い人達に看護の魅力を伝えるために、教育力を上げていくことが大切である。教育力を上げるには、カリキュラムが中心となる。より専門的なご意見そして指導を頂きたい。

2. 委員自己紹介

3. 議事

議長 規定第6条によりEが行う

(1) 令和5年度教育課程編成に基づく運営状況について（中間報告）・・・資料I

G : 資料に沿って説明

<質疑応答>

E C委員へ 学生時代の国試を含めた学習対策について伺いたい。

C委員：1年生から追い込み型の学習スタイルにしていかなければならないのだと思った。そこまでやってはいなかった。

G : 学生の特徴として推薦入学の学生は、早くに合格が決まり入学までの期間中の学習時間を確保せず、学習習慣がついていない学生も多い。
入学後は、カリキュラムに自己学習する時間を設けている。3年生になれば、学習会を自分達で行えるようになってきている。

E : 推薦の学生は、高校格差もあり学習能力がどれだけ身についているかを高めるために、入学選抜方法の検討などを行っている。

C 委員：自分の頃は、1 年生から国家試験を意識した学習はしていなかった。科目試験に向けて学習をしていた。テストに集中して合格できるように勉強していた。

B 委員：3 年間で学習量が多い。国家試験対策も含めて支援をしているが、頑張っている人でも不合格になったり、臨床での学びの偏りから不合格になることがある。学習の面白さは大切だと思うので専門学校の特徴のある学習方法だと思う。

議事（1）について、全員一致で承認された。

（2）学校評価アンケート調査結果および令和 4 年度卒業生および職場上司アンケート結果について・・・資料Ⅱ－1，Ⅱ－2

G ：資料Ⅱ－1，Ⅱ－2 に沿って説明

<質疑応答>

E ：本校のカリキュラムで学んで良かったと思われること、また、もう少し学んでおくと良かったと思われることはあるか。

C 委員：学校での学習や技術は役に立っている。学べてよかったと思えている。最初は、やり方が違い戸惑うことがあったが、違いも基礎からの応用だと思える。採血や注射などは現場でしかできない技術は苦勞した。

A 委員：入職して4 か月ぐらいだと、職場になれるぐらいのときになる。もう少しアンケートの時期が遅くてもよい気がする。

E ：以前は、12 月ごろに行っていたがホームカミングデイの開催時期に合わせた。回収率は同様に低かった。アンケート実施時期や回答率を上げるための検討が必要である。

A 委員：4～5 月は入職して組織について学ぶ時期である。新人にとって7 月頃は、実践に対して不安がある時期だと思う。どの時期が良いとは言えないが、自分を振り返ることで、自信を持てることや振り返りたいことなどの思いも出てくるかもしれない。アンケートの意義は大きい。アンケートを送ることで上司には卒業生を育ててほしいというメッセージにもなると思う。

G ：今まで就職をしていない病院には、アンケートの依頼をするために電話をさせていただいた。卒業生の名前を憶えて頂いていたり、頑張りを直接教えていただいたりもした。

A 委員：病院と学校の情報共有ができていることは、良いことだと思う。お互い困っていることの支援につながる。

議事（2）について、全員一致で承認された。

4. その他

ホームカミングデイ事前アンケート集計結果について

G：資料に沿って説明

A 委員：他のアンケートと合わせてみても、コミュニケーションの課題など問題点がよく出ている。よい取り組みだと思う。

C 委員：新カリキュラムになって、9時以降に実習が開始になり担当看護師が戸惑うことがある。自分はまだ担当していないが、9時には自分の業務スケジュールを立てているのでそこから行動計画を提示されると、自分の計画も立て直しになるため流れが変わってしまう。

G：新カリキュラムは、45分間を1時間とする授業の時間の考えと合わせているため実習時間は6時間と実習時間が短くなっている。実習目標として業務一日を知ることではなく、起こった現象を深めていくことが新カリキュラムの目標になる。

A 委員：途中から来られるとスタッフの負担が大きいだろう。学生に対応するスタッフの看護師業務の調整に加えて、管理上の調整も必要になる。

G：集合実習の場合は、調整が一つの病院だけにならない。領域別実習などは、実習病院と調整をさせていただきながら進めていきたい。

第2回教育課程編成委員会は令和6年2月に開催予定